

用語解説

あ行

アサヒ読本（とくほん）

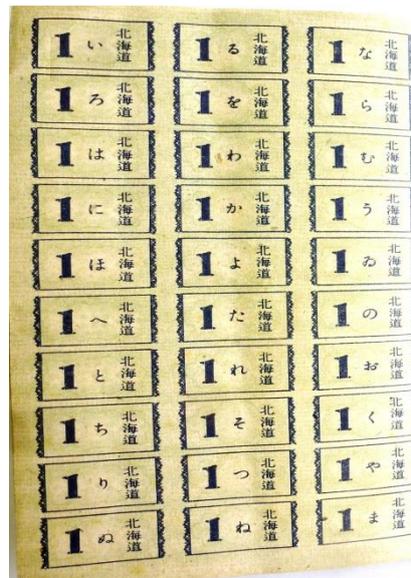
昭和 16（1941）年から昭和 20 年まで、国民学校初等科で使用された教科書。「アカイ アカイ アサヒ」で始まることから、一般に『アサヒ読本』と通称された。

石の花（いしのはな）

1947 年、ソビエト連邦製作の映画。日本においての戦後最初の色彩映画でもある。

衣料切符（いりょうきっぷ）

昭和 17（1942）年から衣料品点数切符制が実施され、切符がないと衣料品が手に入らなくなり、各衣料品により、交換する切符の点数が決まっていた。



インパール作戦（さくせん）

昭和 19（1944）年に、イギリスの中華民国への援助を遮断するために日本軍によって行われた、インド北東部の都市・インパール攻略を目指した作戦。補給を軽視したことにより、日本軍は多くの犠牲を出し、作戦は失敗に終わった。

撃ちてし止まむ（うちてしやまん）

太平洋戦争中の戦意高揚のスローガン。「敵を撃たないでおくものか」、つまり、敵国であるアメリカやイギリスを撃滅するという意味。陸軍省は昭和 18（1943）年に 5 万枚のポスターを作成し、町内や職場に掲示した。前線だけでなく、銃後の生産戦に向けてのスローガンでもあった。この年の標語はこのほかに、「頑張れ！敵も必死だ」があった。

英霊（えいれい）

特に戦死者の霊を敬っている語。

援農（えんのう）

食糧増産のかけ声のもと、男手を戦地にとられた農家を支援するために、学生などが農村に動員された。これを「援農」といい、当時の美唄町でも道内、道外からの援農に多数の人が来ていた。



美工生の援農

か行

海軍工廠（かいぐんこうしょう）

艦船や航空機、各種兵器、弾薬などを開発・製造する海軍直営の軍需工場のこと。

開拓団（かいたくだん）

満蒙開拓団。昭和 6（1931）年から昭和 20（1945）年の敗戦まで、旧満州や内モンゴル地区への農業移民政策として、また対ソ連防衛強化のために計画され、一般開拓団と義勇開拓団とが入植した。その入植地は、関東軍、満州国の政府機関、半官半民の満州拓殖公社によって、中国人や朝鮮人から極めて安い値段で強制収容されたものであった。敗戦直前、ソ連の対日参戦で関東軍から置き去りにされ、多大な犠牲者を出した。

樺太（からふと）

オホーツク海南西部にある島。現ロシア連邦サハリン州。日露戦争後の明治 38（1905）年、ポーツマス条約により、北緯 50 度線を境界に南北に分割され、南樺太については、昭和 26（1951）年のサンフランシスコ講和条約によって放棄させられるまで、日本領であり、行政官庁として樺太庁が設置され、管轄していた。

艦砲射撃（かんぱうしゃげき）

軍艦が搭載する大砲（艦砲）による砲撃。

鬼畜米英（きちくべいえい）

戦時中、敵国であるアメリカおよびイギリスに対するスローガンとして、新聞雑誌等において用いられた語。主にアメリカ軍の行動を中心に、同国の残虐（ざんぎやく）性を宣伝した。この他、学校の教室の前面には、「対米決戦大空知総進軍」などの標語もはられていた。

機銃掃射（きじゅうそうしゃ）

機関銃によって目標を射撃すること。特に航空機から地上の対象を攻撃すること。

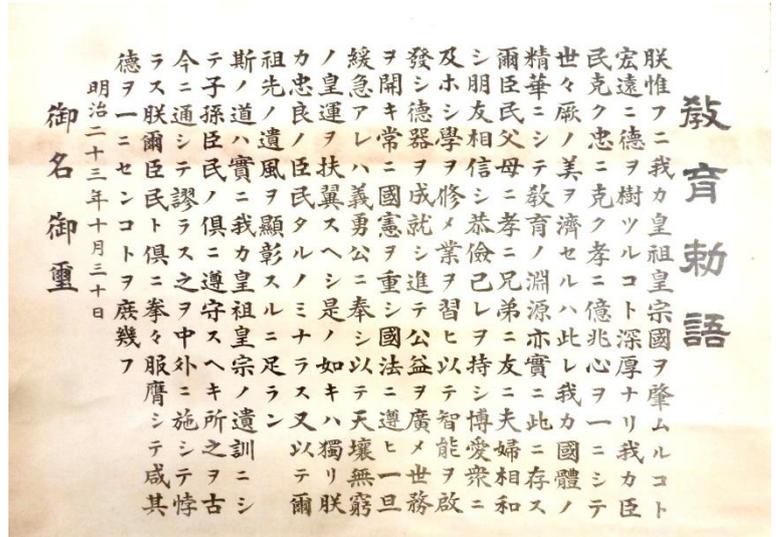
九三式機雷（きゅうさんしききらい）

水上艦艇から敷設する対水上艦艇および対潜水艦用機雷。深々度（しんしんど）及び深海敷設用の一般用機雷として昭和 9（1934）年に採用された。

教育勅語（きょういくちよくご）

教育ニ関スル勅語。明治 23（1890）年発布。昭和 23（1948）年廃止。明治天皇が教育に関して与えた勅語で、政府の教育方針を示す文書。紀元節（2月11日）、天長節（天皇誕生日）、明治節（11月3日）及び1月1日（元日、四方節）の四大節と呼ばれた祝祭日には、学校で儀式が行われ、全校生徒に向けて校長が教育勅語を厳粛に読み上げた。その写しは御真影（天皇・皇后の写真）とともに奉安殿に納められていた。

教育勅語掛軸



上部の拡大

玉音放送（ぎよくおんほうそう）

昭和 20（1945）年 8 月 15 日正午、天皇陛下が戦争終結の詔書を朗読したラジオ放送。前日の 14 日、御前会議でポツダム宣言受諾を決定し、連合国側に伝え、日本は無条件降伏した。詔書は、あらかじめレコードに録音されていた。

玉碎（ぎよくさい）

戦時中、日本軍部隊の全滅を表現する語として、公式発表等で用いられた。

勤労報国隊（きんろうほうこくたい）

昭和 16（1941）年 11 月の「国民勤労報国協力令」により、勤労奉仕の義務が法制化され、国民の動員体制が強化された。昭和 18（1943）年 5 月には「勤労報国隊整備要綱」が決定され、町内又は部落単位で勤労報国隊が結成された。

空襲警報（くうしゅうけいほう）

敵機襲来の目的地がつかめないとき、サイレンなどにより警戒を呼びかけた「警戒警報」と、より切迫した敵機来襲の場合に発令される「空襲警報」の2段階で警報が出される仕組みになっており、「防空警報」と総称された。

駆逐艦（くちくかん）

小型で速力が速く、魚雷攻撃や奇襲・警戒・護衛を任務とする軍艦。

軍属（ぐんぞく）

軍に所属しているが、戦闘員（武官や徴収された兵）ではない者の総称。陸海軍文官、雇員（こいん）、傭人（ようにん）に分けられる。陸海軍文官は官吏であり、文官、教官、陸士海兵等の教授、特殊技術をもつ技師、法官、通訳官、陸海軍看護婦長などをいい、雇員は、技工士、調理士、裁縫士、医務助手など、傭人は操船手、軍用郵便手、裁縫手、割烹手、理髪手、洗濯手などがいた。

軍閥（ぐんばつ）

軍事力を背景に、地方に割拠する集団。辛亥革命（1911-12年）後の中国で、中央の統制を受けず、各地に自己の勢力圏を形成していた大小軍閥によって、中国全土は割拠された。省単位の大軍閥から小都市を支配するだけの小軍閥まであった。

警戒警報（けいかいけいほう）

敵機襲来の目的地がつかめないとき、サイレンなどにより、警戒を呼びかけた。より切迫した敵機来襲の場合に発令される「空襲警報」の2段階で警報が出される仕組みになっており、「防空警報」と総称された。

憲兵（けんぺい）

日本軍において、陸軍の管轄（かんかつ）に属し、軍事警察、行政警察の役割を担った職。反戦思想の取り締まりも行った。

国民学校（こくみがっこう）

昭和 16（1941）年、国民学校令により、従来の尋常小学校と高等小学校が改組され、国民学校初等科（修業年限 6 年）・高等科（修業年限 2 年）となった。

昭和 22 年、教育基本法、学校教育法が制定・公布され、学制改革（六・三制の実施）により、国民学校が廃止され、国民学校初等科は新制小学校に、国民学校高等科は新制中学校に改組された。

国民徴用令（こくみんちょうようれい）

昭和 13（1938）年 5 月に施行された国家総動員法に基づいて、昭和 14 年に制定された勅令（ちよくれい）。戦時下の軍需（ぐんじゅ）を中心とした重要産業の労働力を確保するために、厚生大臣に対して強制的に人員を徴用できる権限を与えた。これにより国民の経済生活の自由は失われた。昭和 20 年廃止。

さ行

支那（しな）

現在の中華人民共和国またはその一部の地域に対して用いられた地理的呼称。語源については諸説あるが、中国大陸中央部初の統一王朝である「秦（しん）」の呼称が周辺国に伝わった際、現在のインドで「シナ」に変化したと考えられている。英語の China（チャイナ）の語源でもあると考えられている。

支那事変（しなじへん）

昭和 12（1937）年から、日本と、当時の中華民国との間で行われた戦闘。宣戦布告が行われなかったため、当時の日本では戦争ではなく事変と称された。戦後、太平洋戦争に重なる期間も含めて、日中戦争と称されるようになった。

島の舟唄（しまのふなうた）

昭和 14（1939）年に発売された、歌手・田端義夫（たばた よしお）のデビュー曲。

銃後（じゅうご）

戦場の後方。戦場になっていない国内又は戦闘行為に直接加わらない一般国民のこと。

絨毯爆撃（じゅうたんぱくげき）

集中爆撃、飽和爆撃ともいわれる航空爆撃法の一つ。大編隊を組んだ大型爆撃機が絨毯を敷くように目標一帯にすきまなく、徹底的に爆撃すること。

傷痕軍人（しょういぐんじん）

戦争によってケガ等を負った軍人のこと。戦傷は身体に重大な障害を残すことが多く、復員後の生活や健康に影響を与えた。日本においては、日本傷痕軍人会（平成 25（2013）年に解散）が中心となって、傷痕軍人の生活の援護と、福祉増進事業を行った。

召集令状（しょうしゅうれいじょう）

軍隊が在郷（民間）の予備役（現役で軍務に就いていない軍人）を集めるために出す命令状。戦時中、日本国民は全員何らかの兵役に就くこととされており、徴兵検査を受け、対象者名簿に掲載された人々に対し、令状を渡し、軍に召集した。充員召集、臨時召集、国民兵召集等には、赤い紙が使われたことから「赤紙」と呼ばれた。

尋常高等小学校（じんじょうこうとうしょうがっこう）・国民学校（こくみんがっこう）

明治 19（1886）年に公布された小学校令によって設置された、尋常小学校（修業年限 4 年）と高等小学校（修業年限 4 年）の教科とを、一校に併置した小学校のこと。

昭和 16（1941）年、国民学校令により、従来の尋常小学校と高等小学校が改組され、国民学校初等科（修業年限 6 年）・高等科（修業年限 2 年）となった。

昭和 22 年、教育基本法、学校教育法が制定・公布され、学制改革（六・三制の実施）により、国民学校が廃止され、国民学校初等科は新制小学校に、国民学校高等科は新制中学校に改組された。



美唄国民学校（昭和 16 年）

掃海艇（そうかいてい）

機雷の除去を任務とする軍艦。

疎開（そかい）

空襲などの被害を少なくするために、都市の住民や建物などを地方に分散することを「疎開」といい、昭和19（1944）年8月からは「学童疎開」が始まった。都会の少年少女たちは、親類などを頼っていく「縁故疎開」や、学校などでまとまって行く「集団疎開」などをし、家族と離ればなれの生活を余儀なくされた者も多かった。

た行

大政翼賛会（たいせいよくさんかい）

昭和15（1940）年10月に第2次近衛文麿内閣によって、新体制運動を推進するために創立された官製国民統制組織。全政党が解散し、これに加わった。総力戦争を遂行するために一国一党制を実現させようとしていた軍に対し、国民各層を結集して軍に対抗できる強力な国民組織をつくろうとした。総裁には首相が、各道府県支部長には知事が就任、行政補助的役割を果たした。昭和20年6月、国民義勇隊へ発展的解消。

大東亜戦争（だいとうあせんそう）

昭和16（1941）年、支那事変も含め、アジア・太平洋地域での、日本とアメリカ、イギリス、中国等との一連の戦争を、大東亜戦争とすると閣議決定がなされたことによる呼称。戦後、アジア・太平洋戦争の呼称が、代わって用いられるようになった。

大日本国防婦人会（だいにっぽんこくぼうふじんかい）

昭和 7（1932）年 12 月に発足した民間の婦人団体。その後、軍の支援を受け全国に活動が広がった。割烹着にタスキがけが正式の会服だった。国防献金、出征兵の見送り、傷病兵送迎、慰問袋作り、兵営や陸軍病院での洗濯奉仕などの活動をした。昭和 17 年には愛国婦人会、大日本連合婦人会とともに統一され、「大日本婦人会」となった。当時の美唄町では、各地区の分会に分かれていた国防婦人会が、昭和 13 年 11 月に「美唄町国防婦人連合会」に統一された。



美唄町国防婦人連合会美唄分会役員（昭和 15 年）

大陸打通作戦（たいりくだつうさくせん）

日中戦争中の昭和 19（1944）年に、日本軍が中国大陸で行った作戦。主として、中国大陸を南北に縦断する鉄道等を確保することにより、南方資源地帯（東南アジア）と日本本土を陸上交通で結び、資源を確保する事を目的とした。

チャーチル

ウィンストン・チャーチル（1874-1965）。イギリス首相（在任期間：1940～1945 年、1951～1955 年）。第二次世界大戦において、強力な指導力により、同国を戦勝国に導いた。戦後は、共産主義のソビエト連邦に対し、西側諸国の結束を呼びかけた。

帝国（ていこく）

大日本帝国の略。江戸時代末期ごろから、現在の日本国を表す国号として外交文書等に使用され始め、明治 22（1889）年の大日本帝国憲法発布によって国号として位置付けられた。その後、昭和 22（1947）年の日本国憲法発布まで、国号として使用された。

帝都（ていと）

当時、国号を「大日本帝国」と称していた日本の首都、東京を指した語。

DDT（ディー・ディー・ティー）

ジクロロジフェニルトリクロロエタン dichloro-diphenyl-trichloroethane の略。有機塩素系の殺虫剤、農薬。戦後の衛生状況の悪い時期、アメリカ軍が持ち込み、シラミなどの防疫対策として用いられ、外地からの引揚者や一般の児童の頭髪に粉状の薬剤を噴霧した。

燈火管制（とうかかんせい）

夜間の敵機来襲に備え、爆撃の目標にならないように、明かりを消したり、黒い布で電灯を覆ったりした。

特攻隊（とっこうたい）

特別攻撃隊の略。陸海軍において様々な形態が存在したが、特に、海軍航空隊の「神風特別攻撃隊（しんぷうとくべつこうげきたい）」が知られている。生還の見込みが低い決死の攻撃、もしくは戦死を前提とする攻撃を行う部隊のこと。海軍航空特攻は、敵戦艦への体当たり攻撃を主な任務とされていた。

隣組（となりぐみ）

第2次世界大戦中に「部落会町内会等調整整備要綱」（隣組強化法）によって制度化された国民統制のための地域組織のこと。市区町村の下単位として、5軒から10軒の世帯を一組とする隣保班が設けられ、配給、供出、動員など行政機構の末端組織としての役割を果たした。隣保班は、都市では隣組、農村では五人組と称することが多かった。昭和22（1947）年に解体。

隣組の歌（となりぐみのうた）

岡本一平作詞（作詞著作権消滅）、飯田信夫作曲で、歌は徳山璉（とくやま たまき）。昭和15（1940）年6月17日、ラジオの『国民歌謡』で放送され、レコードも発売された。戦時中、導入された「隣組」制度を広める目的で作られた歌。

な行

長持（ながもち）

衣類や寝具の収納に使う長方形の木箱。

は行

ハサ

稲架。収穫した稲を掛け、天日干しにして、乾燥させるための農具。

バラック

空地や災害後の焼け跡などに建設される仮設の建築物。急造の粗末な建物。

ビーツ

アカザ科のサトウダイコンの仲間。ロシア料理のボルシチには欠かせない野菜。酢漬けにしてピクルスとしても食される。日本では根や葉が赤いので「火焰菜（カエンサイ）」とも呼ばれる。

復員（ふくいん）

本来の意味は、軍隊の体制を戦時から平時に戻し、余分に配置している軍人を待機状態にすること。日本においては、戦後、解隊された軍を除隊することも復員と解釈された。

復員輸送船（ふくいんゆうそうせん）「リバティ」

第二次世界大戦終結後、海外に残された日本人を本土に帰還させるため使用された艦船は、海軍に所属していた艦艇のうち航行可能なもののほか、アメリカ海軍から供与されたリバティ船等も動員された。リバティ船（liberty ship）は、大戦中にアメリカで大量に建造された規格型輸送船の総称。

フレップ

常緑の低木で、6月から7月に紅白の釣鐘状の花をつける。秋になると、直径5～8ミリ果実ができ、熟すと赤くなる。コケモモ。フレップは、アイヌ語で「赤い実」を意味し、樺太の代名詞にも使われるほど樺太にはたくさん自生し、秋の野は赤く染まった。実は甘酸っぱく、ワインやジャム、ソーダ、ようかんなどに加工された。

奉安殿（ほうあんでん）

各学校に下付された「教育勅語」の謄本（とうほん）と、天皇・皇后両陛下の「御真影（ごしんえい）」（写真）とを、最も丁重に奉置するための建物。「少国民」（国民学校の児童たち）は、登下校の際には必ず、この奉安殿に最敬礼をすることとされた。

ポツダム宣言（せんげん）

1945年7月26日にベルリン郊外のポツダムで発表された日本の戦争終結条件を示したアメリカ、イギリス、中国3カ国（のちにソ連も参加）首脳の宣言。日本の軍国主義の除去、軍事占領、主権の制限、戦争犯罪人の処罰、再軍備禁止などについて規定している。日本は8月14日、これを受諾した。

防空壕（ぼうくうごう）

空襲のときに避難するため、地中につくる地下壕。職場や学校、家の庭などに、穴を掘ってつくった。

防空頭巾（ぼうくうずきん）

空襲の際に落下物から頭などを守った綿入れの頭巾。各家庭にあった衣類などを再利用してつくり、子どもたちは、登下校や移動の際に携帯し、空襲警報が発令されると、すぐさまこれを被って避難した。防空頭巾には、名前や血液型を書いた名札をぬい付けてあって、何かあったときに誰なのかわかるようにしていた。



ま行

松田 伝十郎（まつだ でんじゅうろう）

1769-1842。江戸時代後期の幕臣・探検家。文化5（1808）年、幕府の命により間宮林蔵とともに樺太に渡り、西側を伝十郎が、東側を林蔵が海岸沿いに船で探索した。

間宮 林蔵（まみや りんぞう）

1780-1844。江戸時代後期の探検家。文化5（1808）年、幕府の命により松田伝十郎とともに樺太を探索。「間宮海峡」を発見し、樺太が担当ではなく島であることを確認した。

松前 公広（まつまえ きんひろ）

1598-1641。松前藩の2代藩主。寛永12（1635）年に樺太調査隊を派遣した。

満州国（まんしゅうこく）

昭和7（満州元号：大同元、1932）年から昭和20（満州元号：康德12、1945）年の間、満州地域（現：中国東北部）に存在した国家。中国大陸において清（しん）朝が滅亡後、満州地域は軍閥の支配下に置かれていたが、昭和6（1931）年の満州事変により、関東軍が満州全域を占領。関東軍主導のもと、清朝領土の継承を主張していた中華民国政府からの独立を宣言。清朝最後の皇帝、愛新覚羅溥儀（あいしんかくら ふぎ）を元首（執政、のち皇帝）に擁立（ようりつ）した。

満州事変（まんしゅうじへん）

昭和6（1931）年、当時の中華民国の都市・奉天（ほうてん、現：瀋陽（しんよう）市）において、関東軍（満州における日本軍の部隊）が南満州鉄道の線路を爆破したことをきっかけに始まった、日本と中国との武力紛争。戦闘の結果、満州地域全域は、関東軍によって占領され、翌年の「満州国」建国につながった。

マンドリン銃（じゅう）

第二次世界大戦時にソ連で開発された短機関銃。直径約20センチのドラムマガジンを装備した独特の外観で、両手で持った姿が楽器を演奏する姿に似ていることから、ドイツ軍は「バラライカ」、日本軍は「マンドリン」の名で呼んでいた。

南満州鉄道（みなみまんしゅうてつどう）

明治39（1906）年から昭和20（1945）年まで、満州国に存在した日本の特殊会社。鉄道事業を中心として広範囲にわたる事業を展開し、日本による満州国経営の中心となった。

モッコ

縄などを網状に編んだ運搬用具。

ら行

ルーズベルト

フランクリン・ルーズベルト (1882-1945)。第 32 代アメリカ合衆国大統領 (在任期間 : 1933 ~ 1945 年)。名前はローズヴェルトとも表記される。現在まで唯一、4 度選出された大統領であり、在任期間は歴代最長 (4422 日)。日本軍によるハワイ州の真珠湾への攻撃を受け、日本に宣戦布告した。

ループ線

鉄道を建設する際、高低差の大きな箇所、線路を螺旋状 (らせんじょう) (ループ状) に迂回 (うかい) させて距離を長くすることで勾配 (こうばい) をゆるくする方法。勾配区間で力の落ちる蒸気機関車の時代には、特に必要な方法だった。螺旋部は通常トンネルとなる。